

阿賀野川の水流量

迫力ある流れであった。段差が設けられた所ではまるで地響きがするような音を立て、止めどもなく進んでいく。川幅は広く更に川岸から防波堤までは余裕のスペースが設けられ、広大な農地が広がっていた。さすがは一級河川である。源流は遙か福島県・群馬県からなる。この阿賀野川の年間総流出量は信濃川に次いで日本で2番目の川である。全長210kmは日本で10位。流域面積は7710km²の堂々の大河である。

これらの本流からは只見川をはじめとする多くの支流には、豊富な水を利用して20か所のダムが設けられている。特に奥只見ダム・田子倉ダムは日本のダムの歴史に残る大事業となった。更には世界最大の単一ラバーダムである黒谷ダムをはじめ、日本有数の水力発電として貢献している。



この阿賀野川の流域の支流には、有名な水源に日橋川の猪苗代湖や只見川の尾瀬沼。歴史的に有名な鶴ヶ城・白虎隊など。そして磐梯山などの景勝地にも恵まれている。

新潟県に入った阿賀野川下流地域には70万人が暮らしているが、日本海に入っていく水質は非常にきれいな水で清流と呼ばれるに相応しい河川である。当然ながら魚類の生息も豊富で、虹鱒、鮎、ウグイ、鯉、鮒、イワナ、ヤマメ、カジカ、モクズ蟹等々。これらには遊漁機関を設けており、更に制限値以下の魚を捕獲した場合は放流するなどして資源保護に努めている。

また川の両岸を20万人の観衆で埋まる夏恒例の「阿賀野川ござれや花火大会」は、二尺玉花火や水中花火など好評を博している。川がもたらす大自然を楽しみたいものだ。撮影2013年春

